

この樹の経緯 杜松（としょう：ヒノキ科ネズ属（の数種）の盆栽界での呼び名）

- ・祖父が盆栽好きの友人に連れられて山取りしたものか？
- ・その新木の段階で、1975年頃から私が栽培して、徐々に姿を修正
- ・10年以上植替えておらず、今年、高めの化粧鉢に植替えた

2025年5月 草取り



2025年6月 多めに整枝、上の土の除去、植替え（鉢：和泉屋、長角撫角ワン型上下帯）



この樹の経緯 くさぼけ

- 拙宅で地面に植えて20年間ぐらい懸崖に仕立てている株あり
(つくば市並木産、多数の枝を採取して挿し木で発根後に地面に移植)



- 今年も多数の実が黄色くなったので、一部を鉢に移すことを計画
- 10月の盆栽東京展に行った際に、黄色の補色である青系統の鉢を探して購入
(燿山、丸深縁付、持っている常滑焼のカタログには出ていない新色、藤色?)
- 形のよい株は少なく、多数の根が複雑に絡まっていて上手に掘れなかつたので、よさそうな枝を切って挿し木のようにして固定 (まだ盆栽ではなく、大変申し訳ございません)



- 実の形や香りは、同じボケ属のカリンに似ている (採取している実の香りをどうぞ)

ひとつば

- 高校生の頃に学校に植えられていたもので、生物の先生に言って一部を掘り上げて入手
- 50年ほど経過、20年ほど前に2鉢に分割
- 最初は葉の長さが20cm程度であったが、徐々に小型化
(鉢の中で胞子が飛んで部分的に世代交代していたかもしれない)
- 2024年4月に、それまでの駄温鉢から化粧鉢 (燿山、丸深陣笠足付) に移植
(2011年に購入していた鉢、現在は生産していない?)